



ご挨拶

東日本大震災、原発事故と惨事に襲われ、日本自体が暗澹とした中で立ちすくんでいます。これから社会全体も大きな変革を迎えることになるのでしょうか。

こんなときに、われわれはどのようにしていけばよいのでしょうか。ひとりひとりに問いかけられた難しい設問です。

あえて言うならば、平常心をもって足元を固めなければならぬのではないかと、そんな気がしています。このような異常事態の中で見直され、確認されたのは、人と人との信頼関係であり、社会の基盤となる人間関係であったのは、示唆に富むことです。

われわれの仕事においても、基本を今一度見直し、基礎体力を作り、信頼できる人間関係の構築を心がけていくことが大事だと再確認しました。

(杉浦勝昭)

平成23年5月-6月 予定

5月11日(水)	16:00-20:00	杉の実囲碁の会
12日(木)	18:00-20:00	杉の実ネクスト交流会
19日(木)	14:00-16:00	杉の実サロン「高岸ヌード・デッサン教室」
6月1日(水)	16:00-20:00	杉の実囲碁の会
9日(木)	17:00-19:00	杉の実異業種交遊会
14日(火)	18:00-20:00	HIT不動産情報交換会

倉庫専門サイト 開設！



杉の実サロン

弊社はいろんな方々との交流の輪を広げる企画を実施しています。

「杉の実サロン」は身近な文化教養トークで、今まで「聖書」「大阪維新の会」といったテーマで行いました。

第三回は、平成23年3月24日(木)「飛行機乗りのお話し」と題して弊社

津田洋一郎がお話ししました。(写真の勇姿をご覧ください。)また、(財)自衛隊援護協会の後藤忠司援護課長からはヘリコプターのお話、自衛隊のお話しをうかがうことができました。



20名ほどのかつての少年たちは「飛行機の定義」「飛行機乗りになる道程・訓練・資格」「航空用語」の説明に耳を傾けていました。スピーカーのフライト体験、海上自衛隊での訓練や実動経験の生々しい話に目を輝かしていました。

結局予定時間を1時間オーバーして質問を続けていました。



倉庫に特化したホームページが開設されました。その名も「みつかれ倉庫！」

倉庫の賃貸借や売買に関する情報を満載して提供していきます。

物件検索、弊社実績、新しいタイプの倉庫・改裝例などお役に立つサイトです。

一度ご覧ください。

<http://mitsukare-soko.jp/>

ケータイからもアクセスできます。



お薦めラーメン店



やっぱり第一旭はウマイ！第一旭は50年の歴史のある京都では知らない人がいない程有名なラーメン屋です。私自身少し足が遠のいていたのですが、

久しぶりに食べてみたらやはりおいしかったです。

とんこつしょうゆベースのスープで京都ラーメンの王道ともいえるラーメンだと思います。

発祥は京都市下京区のいわゆる「たかばし」で、いつも横隣の新福菜館と行列を競いあっています。私も京都にいる時はしょっちゅう通っていました。本家・元祖と系列は複雑に分れるみたいなのですが、第一旭と名のつく店は京都を中心にかなりの店舗数があります。

それぞれ店でオリジナル性に富んでといいますが、少しずつ味も違うような気がします。

私のお好みの店は奈良田原本店です。ここは初めて親父に連れていってもらったお店で、

「しょうゆ」もさることながら、みそが格別におススメです。私もこのお店に行けばいつも、みそばかり食べています。皆様も一度食べてみてください。絶対にはまります。(ならづけ)



桃谷商店街 きまぐれ記

3月18日～27日に開催された沖縄国際映画祭に出展の地域発信型映画「謝謝OSAKA」の撮影が、杉の実だよりNo.45（平成22年11—12月号）で紹介した昔ながらのたこ焼き店「西村」で行われたという記事が、生野区の広報紙に掲載されていました。



『撮影は、桃谷本通商店街振興組合をはじめ、地域住民の方々や商店街を訪れた方々の協力を得て順調に進みました。』

大阪のたこ焼き屋を探していた監督のイメージにぴったり一致するとのこと、商店街のたこ焼き店「西村」が選ばれ、吉本興業の“今くるよ”さんや、“なだぎ武”さんなどと一緒に桃谷本通商店街の方たちも参加し、緊張した雰囲気の中で行われました。』

（「広報いくの」3月号より）



若いおにいさんが頭にタオルを巻いて威勢よく焼いているたこ焼き屋さんもいいのですが、写真でもわかるように、情緒あふれる商店街にある昔ながらの雰囲気がそのままのたこ焼き屋さんが、監督さんの目にとまったのでしょう。（ゆず）

プラスかマイナスか

吐

東日本大震災があった今、“何が出来るのか”を考えますが、一人では何も出来ていないのが現状です。

漢字で“吐く”と言う字があります。吐くは口からプラスの事も言えるし、マイナスの事も言えると書きます。口からマイナスの事を言っても字はありませんが、口からプラスの事を言っていると“叶う”という字になります。

だから、私達はプラスの事を言い、みんなが一つの“目標”に向かって頑張り、一人一人が自分の持っている“力”を出し、“行動”して行く事が、必要な事だと思いますし、目標も叶い、夢が持てると信じています。

叶

電気自動車に乗る

「杉の実異業種交遊会」で、福西電機株式会社の専門家から、電気自動車の充電スタンド「パ・チャ・ポ」システムの説明を受け、ヤマト交通株式会社のEV-TAXIに試乗しました。

「杉の実異業種交遊会」は2ヶ月に一度の割合で開催しております。ご興味のある方のご参加を歓迎いたします。



趣味は？

毎年ですが年末ぐらいの時期になりますと来年は新しく趣味や楽しみを見つけようとか考えるのですが、結局バタバタと年始を迎え通常通りの生活を送っております。

そしてまた暖くなるこの時期に考えるのです、何か始めてみようかと・・・

何故このようなことを書くのかというと、最近ある方から

「小池さんの趣味は？」と聞かれ即答できず、自分自身で「これはアカン！」と慌てて「強いて言うなら商店街巡り」と、苦しい返答しかできない始末でした。かなり地味な趣味ではございますが、私的にはこの商店街巡りけっこうはまっております。

休日のお昼頃に外出先の周辺にある商店街をぶらぶらとしながらちょっと気になるお店があれば入って見学、美味しそうなお店があればランチとこんな感じです。「普通やん！」と思われる方もおられるとは思いますが、ここで私が趣味と言い切る理由は全く用事がない商店街にほぼ毎週こんなことをしているからであります。（どんだけ暇やねん！などと言わないで下さいね。）

また、仕事から店舗を探したり、テナント様とお会いしたりする機会もあるため勉強にもなったりもするんですよ、まさに趣味と実益を兼ねた私の休日の過ごし方でございます。

とは言うものの違う趣味も見つけようと、この原稿を書きながら考えております・・・（虎）



地域通貨「フレ」その後

No. 45（平成22年11-12月号）で紹介した八尾市地域通貨「フレ」の最近の様子を聞いてみました。認知という観点からは、難しいようです。

しかし、根づかせるべくスタッフの皆さんはあれやこれやで作戦を立案、実行中とのこと。

まず、この「フレ」の発行は、現在「八尾市活き活き会議事務局」でしかしておりませんが、近々加盟の商店街でも発行できるようになり、使いやすくなりそうです。

最近の例として、八尾市商店会連合会で実施されたスタンプラリーの景品にも使用されたそうです。また、同じように各地で行われている「地域通貨に関するイベント」を参考にしながら、認知度をアップするための新たなイベントも開催されるとのことです。その一つが、八尾市内での「飲み歩き」で特典付き。飲食店も知ることができるし、「フレ」も使われ認知されるし一石二鳥。多くの方が参加されることを期待します。

地域の「繋がり・絆」を基軸に八尾市が私たちの街が活性化することを願っています。ちなみ

に、私はこの「フレ」を使って近所の本屋さんで本を買いました。

（チョビ）



自分の地元を再発見！

関西不動産情報センター（KRIC）の町歩きを行うグループにおいて気付いたら会計やっておりました、セバスチャンでございます。皆さまこんにちは。初めて参加をしたところ感想文を要請され、2回目には腕章をはめての集金お手伝い。3回目ではサブリーダーとの役名も頂いておりました。・・・何故だ(笑)

この『ぶらぶら歩こう会』では、3ヶ月に1度のペースで町や山を一日かけて、皆で歩いております。そしてGW真っ只中に、セバスチャン企画の『八尾の魅力を再発見しよう！』が行われるのでございます！ちなみにこちらの歩こう会、今まで雨らしい雨に当たった事がないという強運な会なので、企画時も雨は全く想定しておりません☆ドッキドキです(笑)

今回の企画はセバスチャンが15年過ごした地元・八尾市。地元民ならではの魅力を皆さまにアピールしようと、セバスチャンが真っ先に訪れましたのが、市役所でした。・・・インドアっ子なセバスチャンに外界の魅力なんて分かりませんよねえ(笑)

下見も致しまして驚いたのが、歴史のあるお寺や雰囲気の良い寺内町が残っていたり、寺内町の小さな資料センターが建設されていたり、市役所でそれらをプッシュする地図が置かれていたり（それも無料デスヨ！）と、知らない事ばかり。意外と市役所って行くと楽しい所かも知れません。祝日でなければ、もっとオススメしたい所も山盛りだったので、リベンジを希望しようかと目論見中でございます(笑)

上手くいきますように願いを込めまして、本日はこれまで。

お付き合い頂きましてありがとうございました(^^)

（セバスチャン）



100円商店街(2)

昨年11月27日(土)に引き続き、大阪市西区にある九条商店街で「くじょう下町100円招店街」が開催されました。

今回は、抽選会やチャリティーバザーなどの売上金寄付や募金活動を通じ、東日本大震災を復興支援する形で行われました。商店街のあちこちに義援金箱が設置されていて、その前で2~3人の子ども達が大きな声で寄付を呼び掛けていました。なので前回とはまた少し違う雰囲気でした。

参加店舗は119店舗と前回より若干減ってはいましたが、それでも十分活気がありました。私がいつもお世話になっている整骨院でもヒマラヤ岩塩入り入浴剤を販売していました(売上金はすべて寄付)。この入浴剤、先生たち総出で小分け作業をしたそうです。同じ作業の連続で腕が筋肉痛になったと笑っていました。

でも、このヒマラヤ岩塩って、すごいです!! 使う前はヒマラヤ岩塩って何? 普通の入浴剤でしょ? って感じでしたが、全身スベスベになるし、大量の汗は出るし、お風呂から上ってもいつまでもポッカポカ。手足の冷えもましになったように思いま



す。思わぬところで良い商品に出会い、今後も愛用していきたいと思っています。

(みるて)

美術館

美術品を見るために、電車バスを乗り継いで、片道3時間30分かけて白浜に行ってきました。

美術館を探して人に聞くと、「白良浜に面したマンションの1階にある」とのこと!

常設『白浜アール・ヌーヴォー美術館』・・・ドアを開けたら、クラシックな雰囲気です別世界に来た感じがした。フランスのエミール・ガレやドームなどの作品が180点以上展示されていた。展示とは別に皆さんに楽しんでもらう企画として、精巧なつくりのミニチュア作品や本物との違いを表すレプリカがあった。

作品を観ていくうちに、次の事にも興味を抱いた。

★照明効果・・・何気ない照明が、ガラス製品との重なりにより花瓶の模様をより美しく映し出し、絶妙な効果をもたらしていたのだ。

★サイン・・・よく見てみると、作品によりサインの色やデザインの違いがある事に気がついた。

それは、花瓶の形や色に合わせて、ひとつずつサインも変えているのだ。あまり見えない所にするサインであるが、私はそこにガレの繊細さを感じた。

【白浜アール・ヌーヴォー美術館】入館料500円
TEL0739-43-2565 <http://www.moan.jp>
白浜駅から明光バスで約15分「まぶ湯」停留所下車
(ノッポくん)



登記・供託オンライン申請システム

以前から不動産の全部事項証明書や会社の謄本などを郵送で送ってもらうことのできるサービスを法務省がやっていたが、そこはお役所・・・プログラムをダウンロードしたり、セットアップしたりするのに多大な時間と労力を要するために、敬遠してきました。

が!! この3月より新システムが満を持しての登場! その名も『かんたん証明書請求』

(<http://www.touki-kyoutaku-net.moj.go.jp/index.html>)

早速使ってみました。 「これできるんやったら、最初からしとけよ・・・」 てくらい実用的になりました。

法務局に行って全部事項証明書(俗に言う登記簿謄本)を発行してもらうと1000円かかるのに、『かんたん証明書請求』を使って申請すると、郵送費用込で700円!! 300円お得になります。

支払は、ネットバンク決済か、ペイジーでの決済(銀行のATM操作)にて行うので、法人の場合でも心配無用です。

非常に簡単ですので、是非一度ご利用してみてください!

(しんぢ)

